

2021年度 公開講演会・公開研究会

公開研究会	
主催	研究会チーム「アフロ・ユーラシア大陸における都市と国家の歴史」
日時	2022年3月27日(日) 13:00~18:30
開催形式	オンライン(Webex)
講師	(1) 村元 健一氏(大阪歴史博物館研究員) (2) 小嶋 芳孝氏(金沢学院大学名誉教授) (3) 田中 俊明氏(滋賀県立大学名誉教授) (4) 黄 曉芬氏(東亜大学教授)
テーマ	(1) 都城史における曹魏洛陽の画期性 (2) 渤海の都城-建国期から上京までの変遷- (3) 朝鮮三国の都城 (4) 発掘から甦った「交趾」都市の歴史空間

公開研究会	
主催	研究会チーム「惑星的視点とアメリカ文学研究の可能性」
日時	2022年3月23日(水) 13:00~15:00
開催形式	オンライン (Zoom)
講師	牧野 理英氏(日本大学文理学部英文学科教授)
テーマ	抵抗するナラティブ: Lawson F. Inada の世界と日系アメリカ詩の可能性

公開研究会	
主催	研究会チーム「芸術と批評」
日時	2022年3月22日(火) 19:00~21:00
開催形式	オンライン(Webex)
講師	佐藤 美晴氏(オペラ演出家)(聞き手:新田 孝行 客員研究員)
テーマ	ウィーンにおけるオペラ演出の現在—演出家の視点から

公開研究会	
主催	研究会チーム「高次脳機能の総合的理解」
日時	2022年3月19日(土)13:00~15:30
開催形式	オンライン (Zoom)
講師	(1) 篠田 陽氏(東京薬科大学准教授) (2) 宇川 義一氏(福島県立医科大学名誉教授) (3) 佐々木 銀河氏(筑波大学准教授) (4) 矢野 博明氏(筑波大学教授)
テーマ	(1) 自閉症モデルマウスの感覚過敏を記述する大脳表象 (2) 非侵襲的脳刺激によるヒト脳機能のモデレーション (3) 障害のある学生を対象とした感覚にやさしい個別学習空間の構築の試み (4) インタラクティブバーチャルセンサリールーム

公開研究会	
主催	研究会チーム「18・19世紀英国の女性詩人」
日時	2022年3月19日(土) 10:30~13:10
開催形式	オンライン (Webex)
講師	兼武 道子 研究員(中央大学文学部教授)
テーマ	Christina Rossettiの“An Old-World Thicket”を読む

公開研究会	
主 催	研究会チーム「芸術と批評」
日 時	2022年3月10日（木）19:00～21:00
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	本宮 寛子 氏（藤原歌劇団 ソプラノ歌手）
テーマ	本宮寛子が語る「新しいレパトリーの創造」の記録

公開研究会	
主 催	研究会チーム「幻想的存在の東西」
日 時	2022年3月9日（水）14:00～16:00
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	植 朗子 客員研究員（神戸大学国際文化研究推進センター協力研究員）
テーマ	植物をめぐるドイツ語圏の神話的物語－「死者」と「転生」のモチーフ

公開講演会	
主 催	研究会チーム「東方思想の発展と交錯」
日 時	2022年3月8日（火）14:00～16:30
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	井川 義次 氏（筑波大学人文社会系教授）
テーマ	イエズス会士を仲介とする儒教情報の啓蒙期欧米への流入と受容

公開研究会	
主 催	研究会チーム「幻想的存在の東西」
日 時	2022年3月5日（土）13:00～14:30
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	篠田 知和基 氏（名古屋大学文学部元教授）
テーマ	世界異界神話をめぐって
共 催	中央大学仏語仏文学研究会

公開研究会	
主 催	研究会チーム「視覚と認知の発達」
日 時	2022年2月28日（月）16:30～18:00
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	足立 幾磨 氏（京都大学霊長類研究所准教授）
テーマ	霊長類における視覚認知について～顔知覚を中心に～
共 催	共催：科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域型提案）「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築－多文化をつなぐ顔と身体表現」

公開研究会	
主 催	研究会チーム「南北アメリカの歴史、社会、文化」
日 時	2022年2月10日（木）19:00～21:00
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	（1）藤本 大士 氏（京都大学PD、法政大学非常勤講師） （2）竹内 愛子 氏（コチ大学AssistantProfessor）
テーマ	（1）医学・キリスト教・生をめぐる日米関係 ～日本におけるアメリカ・プロテスタントの医療宣教 （2）.医学・キリスト教・生をめぐる日米関係 ～帝国とジェンダー研究の視点から見る、生と医療の日米関係

公開研究会	
主 催	研究会チーム「視覚と認知の発達」
日 時	2022年1月31日（月）16:00～17:30
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	川合 信幸 氏（名古屋大学教授）
テーマ	生得的な脅威を検出する視覚機構とその進化
共 催	共催：科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域型提案）「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」

公開研究会	
主 催	研究会チーム「考古学と歴史学」
日 時	2022年1月24日（月）13:00～17:00
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	（1）榎原 功一 氏（帝京大学文化財研究所 准教授） （2）黒尾 和久 氏（国立ハンセン病資料館学芸部長）
テーマ	（1）曾利式土器とその周辺 （2）新地平編年「加曾利E・曾利・連弧文」の時間軸設定から四半世紀 ～2021曾利式土器シンポをうけて、課題と展望を論じる～

公開研究会	
主 催	研究会チーム「南北アメリカの歴史、社会、文化」
日 時	2022年1月22日（土）9:00～11:00
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	Mae M. Ngai 氏（コロンビア大学歴史学部 professor）
テーマ	The Chinese Question: The Gold Rushes and Global Politics

公開研究会	
主 催	研究会チーム「言語知識の獲得と使用」
日 時	2022年1月8日（土）9:30～12:00
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	木戸 康人 氏（九州国際大学 現代ビジネス学部国際社会学科 准教授）
テーマ	CHILDESデータベースの使い方と言語習得研究

公開研究会	
主催	研究会チーム「視覚と認知の発達」
日時	2021年12月17日（金）16：00～17：30
開催形式	オンライン（Zoom）
講師	村山 司氏（東海大学海洋学部教授）
テーマ	シャチに見る「ヒトらしさ」
共催	共催：科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域型提案）「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」

公開研究会	
主催	研究会チーム「視覚と認知の発達」
日時	2021年11月22日（月）14:00～17:00
開催形式	オンライン（Zoom）
講師	（1）中村 杏奈氏（立命館大学OIC総合研究機構客員研究員） （2）向井 香瑛氏（早稲田大学理工学術院特別研究員(PD)） （3）都地 裕樹氏（中央大学研究開発機構 機構助教）
テーマ	（1）他者の感情顔に対する脳・身体の反応-個人差の検討からメカニズムの解明へ （2）他者からの影響度マップ作成の試み （3）他者視線認知に社交不安傾向が与える影響
共催	共催：科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域型提案）「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」

公開研究会	
主催	研究会チーム「南北アメリカの歴史、社会、文化」
日時	2021年11月21日（日）10:00～12:00
開催形式	オンライン（Zoom）
講師	樋口 敏広氏（ジョージタウン大学歴史学部 Assistant Professor）
テーマ	地球環境問題の先駆けとしての大気圏内核実験問題

公開研究会	
主催	研究会チーム「考古学と歴史学」
日時	2021年11月14日（日）13:00～17:30
開催形式	オンライン（Webex）
講師	（1）小林 謙一 研究員（中央大学文学部教授） （2）箱崎 真隆氏（国立歴史民俗博物館研究員） （3）工藤 雄一郎氏（学習院女子大学准教授） （4）宮田 佳樹氏（東京大学総合研究博物館特任研究員） （5）遠部 慎 客員研究員（島根大学法文学部山陰研究センター） （6）畑山 智史 客員研究員（船橋市飛ノ台史跡公園博物館学芸員）
テーマ	共通テーマ：挑戦的研究（萌芽）・高精度年代測定法の開発と適用可能な考古・歴史資料の拡大 （1）主旨説明および縄文時代の年代高精度化の現状と課題 （2）縄文時代の高精度年代法の課題と解決に向けた展望 （3）九州北部における縄文時代草創期土器群の年代について （4）縄文土器の脂質分析とその解釈 （5）地藏ヶ淵洞穴の再検討 （6）貝製品に対する貝殻成長線分析の取り組み

公開研究会	
主 催	研究会チーム「移民を背景とする青少年の人間形成に関する日欧比較研究—学校から職業への移行に着目して—」
日 時	2021年11月7日（日）13:30～16:30
開催場所	オンライン（Zoom）
講 師	（1）アンジェロ・イシ氏（武蔵大学社会学部メディア社会学科教授） （2）津村 公博氏（浜松学院大学現代コミュニケーション学部教授）
テーマ	共通テーマ：移民を背景とする青少年の自己形成—当事者の視点、支援者の視点、研究者の視点 （1）“在日ブラジル人1世”研究者からみる青少年の自己形成 （2）移民を背景とする青少年の自己形成 —孤独なツバメたち世代のデカセギ第2世代の青少年のその後—

公開研究会	
主 催	研究会チーム「考古学と歴史学」
日 時	2021年11月1日（月）13:00～15:00
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	（1）植月 学氏（帝京大学文化財研究所准教授） （2）菊池 大樹氏（蘭州大学歴史文化学院教授）
テーマ	（1）死牛馬処理研究の新展開 （2）中国古代王権と馬匹生産

公開研究会	
主 催	研究会チーム「南北アメリカの歴史、社会、文化」
日 時	2021年8月28日（土）13:30～17:00
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	（1）小田 悠生 研究員（中央大学商学部准教授） （2）和泉 真澄氏（同志社大学グローバル地域文化学部教授） （3）一政 史織 研究員（中央大学法学部教授）
テーマ	（1）Impossible Subjectsとアメリカ移民史研究の潮流 （2）移民史／エスニック史から越境生活史へ —日系カナダ人通史の出版までと今後の研究課題 （3）第一次世界大戦後の戦後構想と婦人国際平和自由連盟 —エミリー・グリーン・ボルチの思想を中心に

公開研究会	
主 催	研究会チーム「スペイン語圏の歴史と文化」
日 時	2021年8月2日（月）10:00～12:50
開催形式	オンライン（Webex）
講 師	（1）佐藤 正樹 客員研究員（慶応義塾大学経済学部専任講師） （2）三瀧 みづほ 客員研究員（学習院大学文学部史学科助教）
テーマ	Fernando Bouza, Pedro Cardim, and Antonio Feros (eds.) The Iberian world: 1450-1820 (Routledge, 2020)の講読 （1）Bartolomé Yun- Casalilla, "The peninsular economies and the impact of globalisation (ca. 1494-1700)", pp.189-210 （2）James S. Amelang and Mercedes Garcia-Arenal, "Religious conversion and identities in the Iberian peninsula", pp.245-260

公開研究会	
主 催	研究会チーム「国際化と語学教育」
日 時	2021年7月24日（土）16:00～17:30
開催形式	オンライン（Zoom）
講 師	川崎 正孝氏（立命館大学大学院先端総合学術研究科先端総合学術専攻博士後期課程）
テーマ	Philosophical Importance of Language Education